

● 病院概要

- 開設者名 新潟市 ● 病院長名 大谷 哲也
- 標榜診療科目

血液内科、内分泌・代謝内科、腎臓・リウマチ科、呼吸器内科、腫瘍内科、消化器内科、循環器内科、脳神経内科、脳神経外科、小児科、放射線診断科・放射線治療科、新生児内科、総合診療内科、感染症内科、消化器外科、乳腺外科、心血管外科、呼吸器外科、小児外科、整形外科、泌尿器科、耳鼻いんこう科、眼科、産科、婦人科、皮膚科、麻酔科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、形成外科、病理診断科、検査診断科、精神科、脳卒中科、救急科、緩和ケア内科、ペインクリニック外科

● 使用許可病床数	使用許可病床数	一日平均入院患者数
一般	652床	563.7人
感染症	8床	0.9人
精神	16床	6.2人

- 一日平均外来患者数 999.2人 ● 医師数 常勤 152人 非常勤 52.3人
- 年間手術件数 6,906件 ● 年間出産件数 475件
- 病院併設施設 救命救急・循環器病・脳卒中センター、総合周産期母子医療センター、日帰りドック、健康管理室、病児保育室
- 救急告示病院の指定 有
- 学会指定施設の状況

日本内科学会認定医制度教育病院、日本血液学会認定血液研修施設、日本輸血・細胞治療学会&A認証施設、日本輸血・細胞治療学会認定医制度教育施設、日本糖尿病学会認定教育施設、日本甲状腺学会認定専門医施設、日本腎臓学会認定研修施設、日本透析医学会専門医制度研修施設、日本リウマチ学会教育施設、日本高血圧学会専門医認定研修施設、日本精神神経学会精神科専門医制度研修施設、日本神経学会専門医制度教育施設、日本頭痛学会認定教育施設、日本呼吸器学会認定施設、日本臨床腫瘍学会認定研修施設、日本消化器学会専門医認定施設、日本消化器内視鏡学会専門医指導施設、日本肝臓学会認定施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本心血管インターベンション治療学会認定研修施設、日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設、日本不整脈心電学会経皮的カテーテル心筋焼灼術実施施設、IMPELLA補助循環用ポンプカテーテル実施施設、浅大腿動脈ステントグラフト実施施設、日本静脈経腸栄養学会NST(栄養サポートチーム)稼働施設、日本栄養療法推進協議会認定NST(栄養サポートチーム)稼働施設、日本静脈経腸栄養学会栄養サポートチーム(NST)専門療法士認定教育施設、日本病院総合診療医学会認定施設、日本緩和医療学会認定研修施設、日本小児科学会専門医研修施設、日本小児循環器学会認定小児循環器専門医研修施設、日本内分泌学会認定教育施設(小児科)、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本消化器外科学会専門医修練施設、日本大腸肛門病学会認定施設、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本食道学会全国登録認定施設、日本肝胆膵外科学会認定肝胆膵外科高度技能専門医修練施設B、日本食道学会食道外科専門医認定施設、日本消化器外科学会連携施設(対象術式:腹腔鏡下肝切除術)、日本乳癌学会認定施設、三学会構成心血管外科専門医認定機構修練施設(基幹施設)、下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実施基準による実施施設、ステントグラフト実施施設(腹部・胸部)、日本整形外科学会専門医制度研修施設、日本手外科学会認定研修施設、脊椎椎間孔専門医基幹研修施設、日本脊椎椎間孔学会椎間孔酵素注入療法実施可能施設、日本脳神経外科学会専門医訓練施設、日本脳卒中学会認定研修教育病院、日本脳神経血管内治療学会専門医研修施設、日本脳卒中学会一次脳卒中センター(PSC)認定日本小児外科学会専門医認定施設、日本形成外科学会認定施設、日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会認定、乳房再建用インプラント(一次二期再建、二次二期再建、二次再建)実施施設・乳房再建用エキスパンダー(一次再建、二次再建)実施施設、日本皮膚科学会認定専門医研修施設、日本泌尿器科学会専門医教育施設、日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設、日本産科婦人科学会専門研修プログラム連携施設、日本女性医学学会専門医制度認定研修施設、日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設、日本眼科学会専門医制度研修施設、日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設、日本内分泌外科学会専門医制度関連施設、日本医学放射線学会放射線科専門医総合修練機関、オートプシー・イメージング学会Ai撮影参加施設B、日本麻酔科学会麻酔科認定病院、日本ペインクリニック学会認定指定研修施設、心臓血管麻酔専門医認定施設、日本感染症学会認定研修施設、日本病理学会研修認定病院B、日本臨床細胞学会認定施設、日本病理精度保証機構外部精度評価認定施設、染色サーベイ(ER・HER2)・フォトサーベイ(ER・HER2)、日本救急医学会救急科専門医指定施設、日本救急医学会指導医指定施設、日本呼吸療法医学会専門医研修施設、日本集中治療医学会専門医研修施設、日本周産期・新生児医学会周産期新生児専門医暫定認定施設(基幹施設)、日本周産期・新生児医学会周産期母子・胎児専門医暫定研修施設(基幹施設)



所在地 〒950-1197 新潟県新潟市中央区鐘木463-7
 TEL 025-281-5151 FAX 025-281-5187
 HPアドレス <http://www.hosp.niigata.niigata.jp/>

ここがポイント!

新生児から超高齢者、軽症から重症までの多彩な症例を経験することで臨床の基本を叩き込みます。

照会先
 教育研修室
 TEL 025-281-5151 (内3113)
 FAX 025-281-5187
 E-mail kensyu@hosp.niigata.niigata.jp

病院見学の受入 随時
 申込方法
 ①氏名(ふりがな)②大学名・学年③見学希望日④希望診療科を明記し、メールにて教育研修室へお申込みください。
 詳細については、当院ホームページに掲載しています。

◆ Access



- 新潟駅南口からバス「新潟市民病院前」下車すぐ
- 新潟駅南口からタクシー約15分 ● 近隣にビジネスホテルあり

研修概要

研修プログラムの目的と特徴 (2022年度研修医)

◆ 2007年に卒後臨床研修評価機構 (JCEP) の評価を受け、全国で9番目に認定されています。

● 目的
 プライマリ・ケアに対応でき、社会ニーズにこたえることのできる自立した臨床医になるため、広く医療に関する事項を理解するとともに医の倫理を遵守し、総合的な臨床能力を身につける。

- 特徴
- (1) 基幹型臨床研修病院として、一貫したプログラム下での研修体制
 - (2) 併設する3次救命救急センターでの徹底した救急診療トレーニング
 - (3) プライマリ・ケアに重点を置いたプログラム
 - (4) 選択科を設置し、研修医の意思と自主性を尊重
 - (5) 豊富な経験症例数
 - (6) これまでの臨床研修指定病院としての研修教育実績



● 研修プログラム

新潟市民病院臨床研修プログラム【ローテーションの一例】

1年次	オリエンテーション 2週	血液内科 内分泌・代謝内科 6週	腎臓・リウマチ科 総合診療内科 6週	消化器内科 6週	循環器内科 6週	呼吸器内科 6週	救急1 (麻酔科) 4週	救急2 (救急科) 8週	外科(1科選択) 消化器外科・脳神経外科 整形外科・心血管外科 8週
2年次	脳神経内科 6週	地域医療※1 8週	精神科※2 4週	小児科 4週	産科 4週	自由選択 26週			

※1 地域医療は、外来研修4週を含み、新潟県立坂町病院・新潟県立津川病院・佐渡市立両津病院・あがの市民病院の中から選択
 ※2 精神科は、新潟大学医学部総合病院・河渡病院・新潟信愛病院・白根緑ヶ丘病院の中から選択

● 協力病院・協力施設

河渡病院、新潟信愛病院、新潟南病院、佐渡市立両津病院、新潟県立津川病院、新潟県立坂町病院、新潟大学医学部総合病院、あがの市民病院、白根緑ヶ丘病院

● 研修医の待遇 (2022年度研修医)

1年次月額	基本給 : 約280,000円 当直手当 : 21,000円/回・月約3回 時間外手当 : 当院規程により支給 月額平均計 : 約420,000円 通勤手当 : 当院規程により支給 期末手当 : 当院規程により支給 約460,000円/年
2年次月額	基本給 : 約290,000円 当直手当 : 21,000円/回・月約3回 時間外手当 : 当院規程により支給 月額平均計 : 約440,000円 通勤手当 : 当院規程により支給 期末手当 : 当院規程により支給 約740,000円/年

※給与規程の改正により、変更となる場合があります。

- 勤務体制 勤務時間 : 8:30~17:00
日直 : 8:30~17:15
当直 : 17:15~8:30
- 研修医当直回数 (月平均) 3回/月
当直時の勤務体制 (研修医以外の当直医数) 7人
(当直研修医数) 2人

1. 研修医1年次の当直業務
 - ・基本的には準夜帯の小児科を含む患者の初期診療に参加する。
 - ・深夜帯は、基本的には院内待機として仮眠をとる。
 - ・患者多数時や重症患者の対応でコールすることもある。
2. 研修医2年次の当直業務
 - ・主とした業務は、深夜帯に救急医及び小児科医の指導の下に診療を行う。(患者からの電話対応を含む)
 - ・準夜帯は、基本的には院内待機とし仮眠をとってもよい。
 - ・患者多数時や重症患者の対応でコールすることもある。
 - ・当直明けは休みとする。

● 研修医の学習環境

居室 専用の研修医室 有、専用の机 有
 専用の電子カルテ 1人1台有
 図書・文献 医局図書室は24時間利用可能
 国内図書 7,811冊 国外図書 1,345冊
 国内雑誌 95種類 国外雑誌 65種類
 医中誌Web、UpToDate、clinicalkey、Medical Finder、Medical Online利用可能。

インターネット環境 各自の机からインターネット接続可能

● 研修の宿舎の有無など

宿舎 無
 食事 院内に年中無休のレストラン・売店・ベーカリー(職員割引あり)
 朝昼夕食ともに、事前注文で院内レストランから医局まで配達可能
 ※近隣にコンビニ・スーパー・ドラッグストアあり

医学生の皆様へ



<新潟市民病院で医師としての第一歩を>
 消化器内科 大崎 暁彦

新潟市民病院は3次医療機関であり、基幹型臨床研修病院としての研修体制を敷いております。common diseaseはもちろん、各分野の救急疾患、外傷、熱傷など重症例、難症例の診療を行っています。あらゆる分野を網羅した豊富な症例、緊急手術を含めた膨大な手術症例に加え、ロボット及びコンピュータ支援手術などの先進医療も経験できます。重症例、難症例では、チーム医療の大切さを学べ、common diseaseでは得られない濃密な経験値を得ることができます。セミナー、カンファレンス、講演会などの多数の教育行事が開催され、アカデミックなサポートも万全です。当院での研修は、先生方の医師としての基盤を築き、今後の医師キャリアの財産になることと思います。是非、一度見学にいらして下さい。



<新潟市民病院での研修の魅力>
 第43期研修医 (令和2年卒) 富田悠祐

新潟市民病院はアカデミックな学習と実務的な経験量の豊富さを兼ね備えた、優れた研修環境を持つ病院です。更にかみ砕いていうと頭と身体の両方を鍛えることができる病院といえます。

このことを自分が一番実感できたのは救急外来での診療です。軽症から三次救急病院ならではの重症患者まで様々な症例を、専門の救急医からのfeed backを受けながら自身でも考えて診療を進めていく経験は確実に自分の成長につながりました。

もちろん他の科の先生方も熱心に指導してくださるばかりです。その他にも様々な面で研修をサポートする体制が整っています。

充実した環境で基本的な臨床能力を満遍なく身につけたい方はぜひ一度見学にいらしてください。